



茅葺は里山エコロジー NPO あいな里山茅葺同人

活動開始の経緯

かつて里山の民家は茅葺で造られていました。里山地域には雑木林や茅場としての草地は生活を支える場として人間の収奪と手入れが講じられて、自然植生への遷移を防いできました。

特に、茅葺屋根は地域の協働作業「結い」および里山エコロジーのシンボリックな存在でしたが、社会経済情勢の構造的変化により喪失しています。

明石海峡公園神戸地区(仮称)で開かれた茅葺講座を通して茅葺き作業体験にとどまらず、里山の暮らし・生産活動が自然環境保全にとって重要な働きかけを学習しました。

茅葺講座受講生の有志が公園で培った知識・経験を水平展開し、地域とネットワークを結びエコロジー型の里山景観保全を通して社会貢献しようと2008年10月に設立しました。

目的

地域と地域住民に対して、里山景観の再生など自然環境の改善、発生した資源の再利用・有効活用及び普及促進、里山の保全に関する講演会・セミナー・環境イベントの開催に関する

事業を行い、人と地球にやさしいエコロジー循環型に配慮した地球温暖化の抑制並びに自然環境の改善に寄与することが目的です

活動

現在の主な活動は、甲南女子大学学習林(神戸市東灘区)で整備・保全などふれあいの森づくりをしています。

将来この学習林が自然教育や環境教育のために近隣の幼稚園や小学校の子供たちが利用できる場所となり、また近隣住民が気軽に自然と親しみながら、自然環境の保全などについて考える場となることを視野に入れて取り組んでいます。

また、明石海峡公園神戸地区(仮称)の草地ゾーンで放棄田をススキの原に再生すべく活動しているグループの「あいな茅葺くらぶ」の運営にも参加しています。

そこで生育するススキが茅葺やイベントに利活用されれば嬉しいなと思って草やネササを刈っています。



活動場所(甲南女子大学学習林 コナラ林内に建つツリーハウス)



活動場所(甲南女子大学学習林 住宅地隣接部での伐採状況)



茅葺講座受講生たち(明石海峡公園神戸地区(仮称)にて2004年3月)



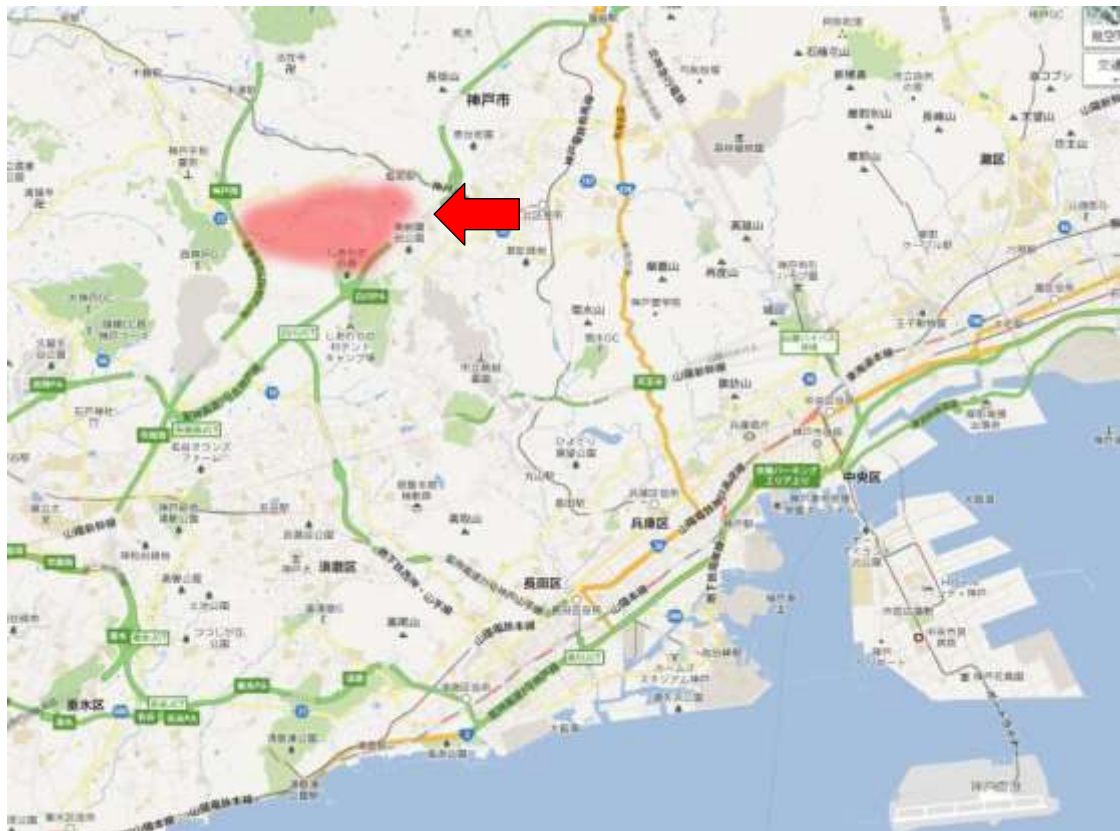
ススキの原(明石海峡公園神戸地区(仮称)内 放棄地ネササ刈取り部)

連絡先

特定非営利活動法人 あいな里山茅葺同人 (担当者: 星島 明)

TEL:090-6064-8527 MAIL:hoshijima281074@gmail.com

ホームページ: <http://www.kankyo.atnifty.com/~kayabuki/>



国営明石海峡公園神戸地区(あいな里山公園)



甲南大学女子大学(ふれあいの森)